



「自慢の左ストレートで世界チャンピオンに!!」

やすたか
黒木健孝さん
(東崎町)

「勝つ自信はありましたが、試合で自分の力が出し切れなかったので、勝利の判定を聞いたときは驚きました」と飾り気のない笑顔で話す黒木さん。5月5日に行われたボクシングの日本ミニマム級(最も軽い階級で体重が47・61kg以下)タイトルマッチで、初挑戦ながらも3対0の判定でみごと日本チャンピオンに輝いた。

試合は、1回から左ストレートなどでチャンピオンを圧倒、終始試合を優勢に進めた。そして7回、相手の偶然のバッティングで左まぶたから出血。試合続行が不可能となったが、それまでの採点でタイトルを奪取した。

黒木さんのボクシングは、相手にパンチを当てさせないトリッキーな動きから、強烈な左ストレートを武器にKOを常に狙っていく攻撃的なスタイルだ。「いつも先手先手と攻めて、観客を沸かせる攻撃的なボクシングをしたいです」ときっぱり話す。ジムで指導するコーチは、「パンチの強さは天性のものです。また、打たれてもすぐに打ち返す元気のよさ、気持ちの強さがとにかくいいところですよ」とボクサーとしての才能に目を細める。

そんな黒木さんの将来の夢は、もちろん世界チャンピオンになることだ。そのためには、9月に行われる初防衛戦で勝ち、世界ランクを上げることが当面の目標だ。「日本タイトルはあくまで通過点。早く世界タイトルに挑戦したいです」と目を輝かせる。世界チャンピオンベルトを腰に巻く黒木さんの勇姿を一日も早く見たい。

子ども作品展



都和南小 6年
岡田 萌さん

都和南小 6年岡田萌
強 信 念



都和南小 6年
結束萌花さん

都和南小 6年結束萌花
成 長



「理科の実験」
都和南小 6年
ちひろ
國分千尋さん



「がんばった!どっこいしょ」
都和南小 4年
みさき
藤井未咲さん

